



トータルディレクション | Fu-Garden

風景を、思想にする。

Turning landscape into thought.

最後まで、あなたの「代理人」として。

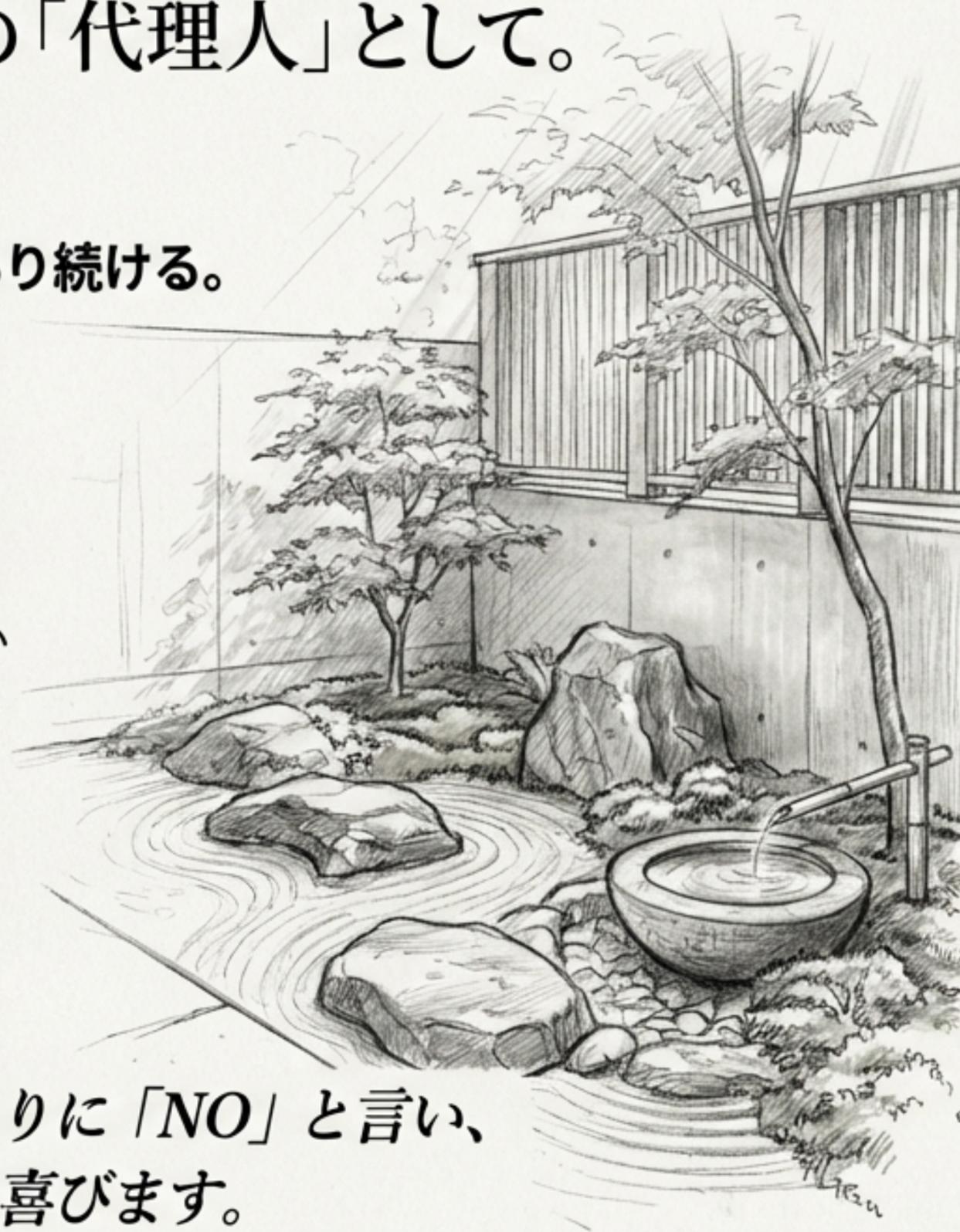
「完成」というゴールまで、  
あなたの「理想」の番人であり続ける。

優れた意匠と、最高の技術。  
その二つが現場で出会うとき、  
予期せぬ化学反応が起きます。

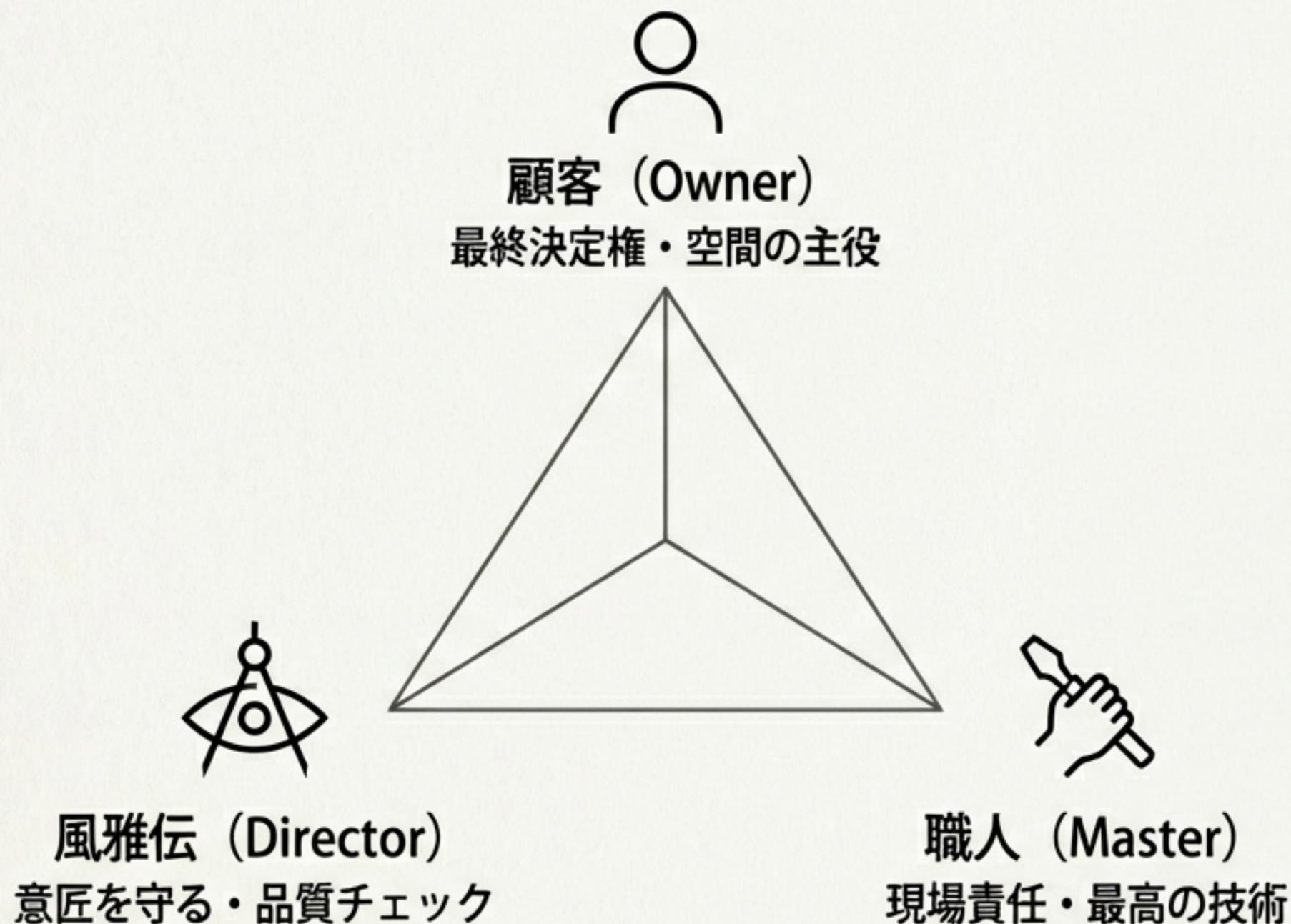
私たちの役割は、現場の熱量に寄り添い  
ながらも、当初の「美学」が決して  
ブレないよう舵取りをすること。

施工と監理を分離し、  
中立的な立場で伴走することで、  
空間に揺るぎない品質を宿します。

私たちは、あなたの代わりに「NO」と言い、  
あなたと共に「最高」を喜びます。



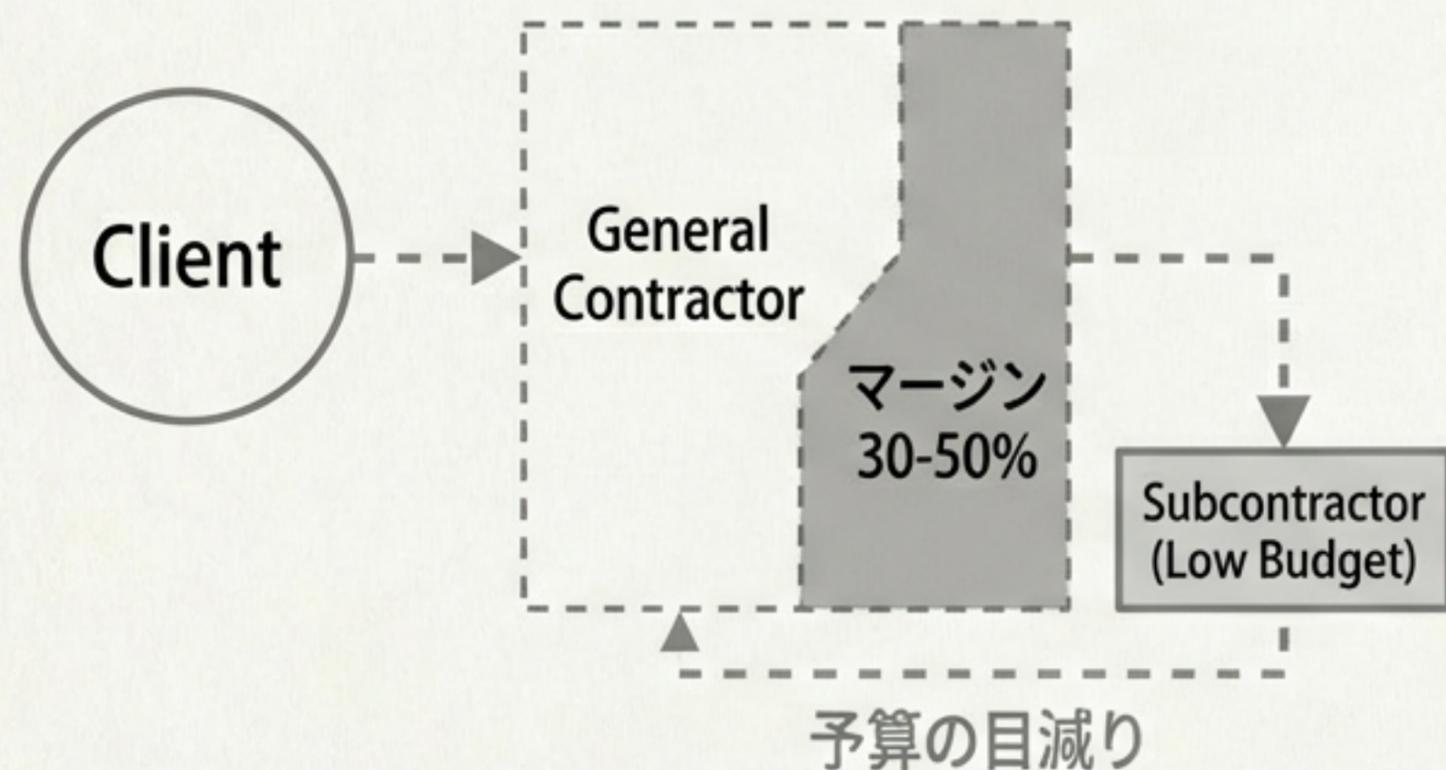
# 独自の「三者共創マネジメント」



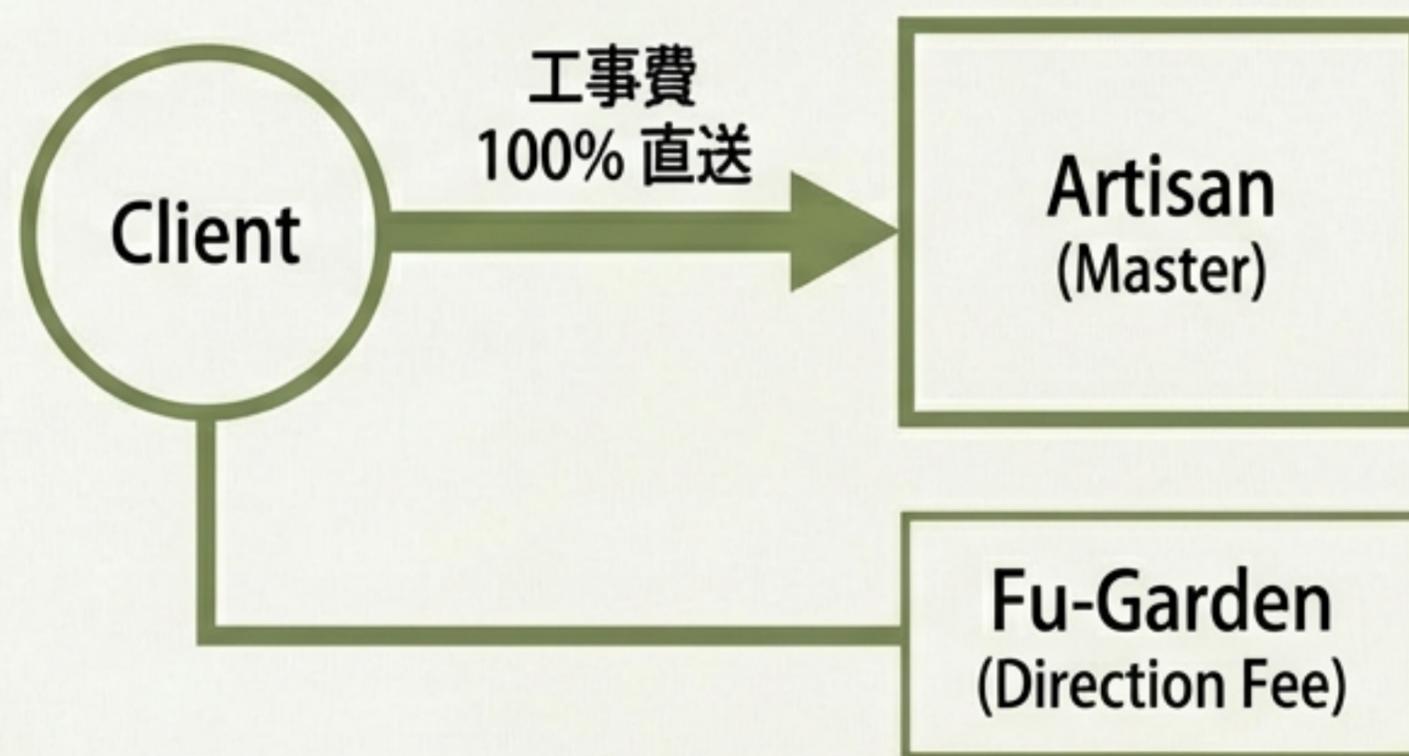
- **対等な三角形**  
施工会社の「自社都合」を排除。
- **透明性**  
第三者が介在することで、見積もりや工期の透明性が保たれる。
- **集中**  
職人は事務作業ではなく、現場の完成度向上に時間を割ける。

# 「中抜き」をなくし、投資のすべてを「風景の質」に変える

## 従来のモデル



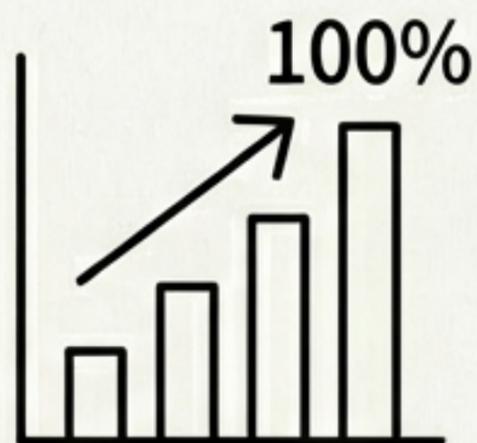
## Fu-Gardenのモデル



従来のモデル：工事費の30%～50%がマージンとして消える。

Fu-Gardenのモデル：あなたが支払う工事費は、そのまま「職人の手間賃」と「良質な資材費」に充てられます。

# 直接契約・直接支払いがもたらす価値



## 1. For Owner (100%投資効率)

「誰に、いくら払っているのか」が明確。不明瞭な一式計上を排除し、納得感のある空間づくりを実現。



## 2. For Master (技への正当な対価)

買い叩かれることがないため、職人は手を抜く必要がない。自らの技を出し切り、最高の結果を出すことに全力を注げる。



## 3. For Director (純粋な美学の番人)

私たちは施工費から利益を得ないため、「工事を安く浮かせて利益を増やす」という動機が一切働きません。忖度なしの厳格なチェックが可能。

# ディレクションの守備範囲

- **意匠監理 (Design Audit)**

図面には現れない「空気感」、陰影の出方、植物の角度をミリ単位で確認。

- **クリエイティブ・セッション**

現場で起きる課題（地盤の状態や素材の個体差）に対し、職人の知恵を引き出しながら即興的な調整を行う。

- **透明なレポート**

進行状況を専門用語ではなく、心に響く言葉で共有。



# お客様を不安にさせない4つの約束

01

**「物語」が伝わる、ライブ工程表**  
単なる日付ではなく、「空間に命が宿るステップ」として進捗を共有。

02

**「意匠」の番人による、厳格な現場監理**  
完成後に隠れてしまう基礎や排水処理など、空間の寿命に関わるポイントも写真で記録。

03

**「不透明」を排除した、クリーンな決済**  
職人からの請求が、進捗と品質に見合っているかを厳しく検収した上で、入金をご案内。

04

**歳月を味方にする「育成」の指針**  
引き渡して終わりではなく、5年後、10年後の成長を予測したメンテナンス計画を提案。

# プロセスそのものを、 エンターテインメントに。

ワクワクする共有。

「今日は骨組みとなる石が届く日」

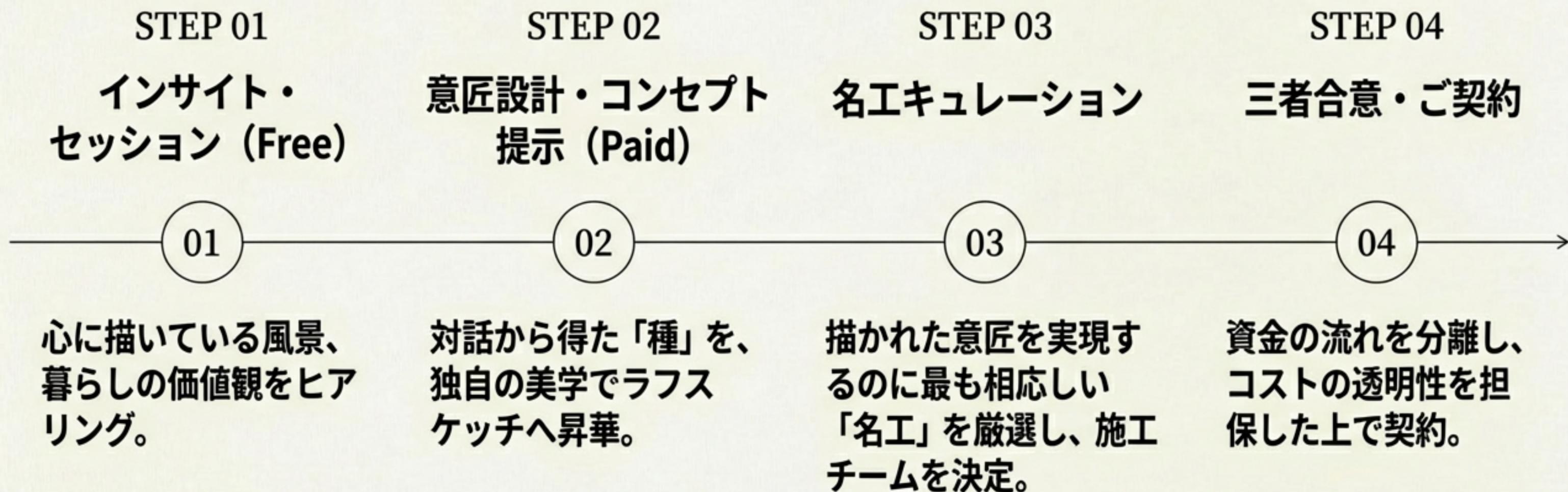
「明日は景色を決定づける木を植える日」

天候や素材の吟味で工期が変わる場合も、

「品質を優先するための判断」であることを  
誠実に説明します。



# プロジェクトの流れ：構想～契約



# プロジェクトの流れ：施工～育成

STEP 05

トータルディレクション

05

現場スタート。素材の選定や配置を細かくディレクションし、ライブ工程表で共有。

STEP 06

検収・お引渡し

06

プロの視点で最終検査を行い、意匠の純度が守られていることを確認。

STEP 07

アフターマネジメント

07

植物の成長に合わせて、最適なメンテナンスや追加提案を行う「空間の主治医」として伴走。



## CASE 01：建築美と自然の共鳴

### Problem

---

建築家こだわりのモダンな平屋。  
既製品の外構では建物の品格を  
損ねてしまう。

### Solution

---

意匠：建物の水平ラインを活かした広大なウッドデッキと、あえて視線を遮らない「疎（まばら）な植栽」。  
キュレーション：現代建築への理解が深い「植栽の名工」を選定。

### Outcome

---

リビングの一部として森を感じられる、内と外が溶け合う空間。



## CASE 02 : 山梨の原風景を 「次代」へ遺す

### [Problem]

代々受け継いできた古い石積みが荒れてしまった。「全て壊してコンクリート」にする案への抵抗感。

### [Solution]

意匠：既存の古い石を「再構築」し、現在の家族が集えるテラス空間を組み込む。  
キュレーション：希少な「穴太積み(あのうづみ)」の技術を持つ石積みの職人を招聘。

### [Outcome]

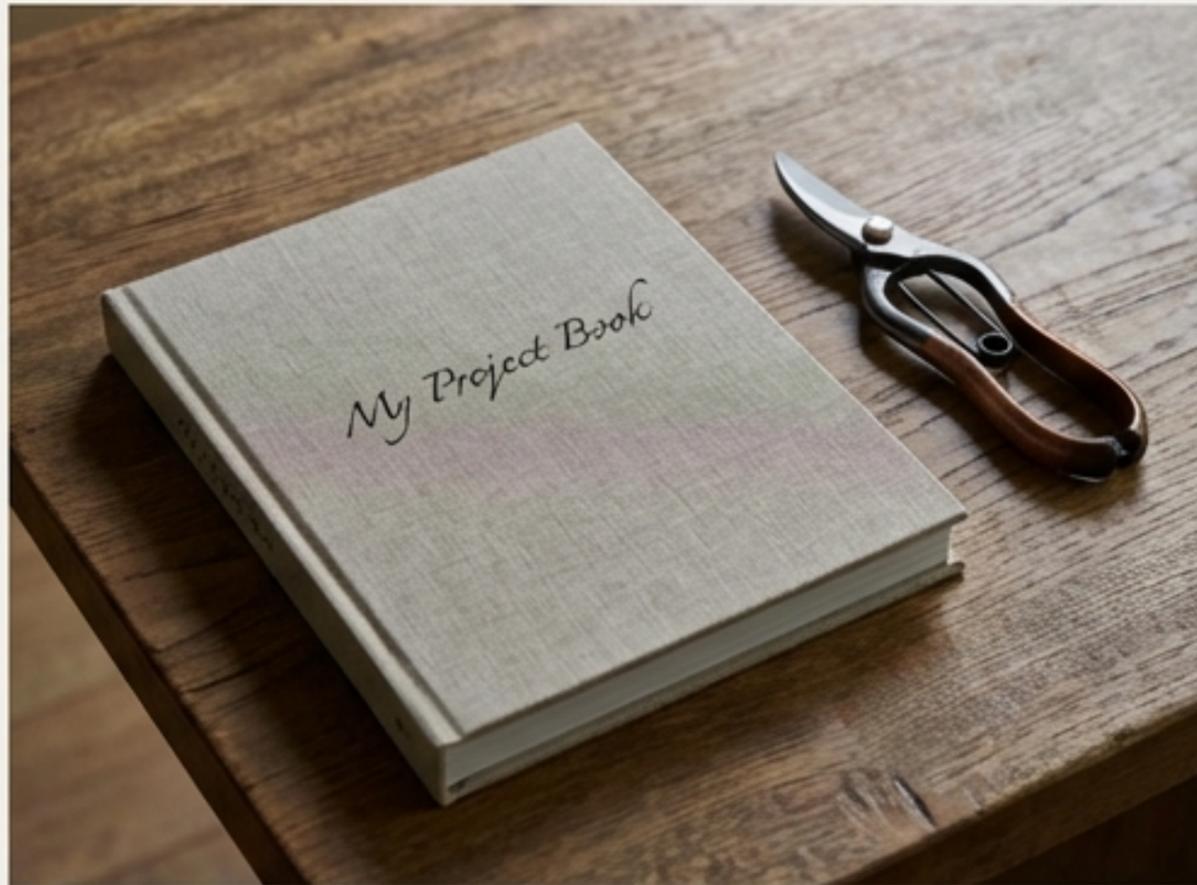
祖父の代の石が新しい生命を宿し、子供たちが走り回れる「温故知新」の庭。



## CASE 03：予算内で「本物」の一点突破

- [Problem] 予算に限りがあるが、安っぽい庭にはしたくない。
- [Solution] 意匠：「面」への投資を削り、「点」と「線」に集中。予算の7割を玄関周りの石積みと、リビング正面の「主木」一本に投じる。
- [Outcome] 一点一点が「本物」であることで、空間全体に圧倒的な説得力と高級感が宿る。

# 完成の先を見据えた「空間の主治医」

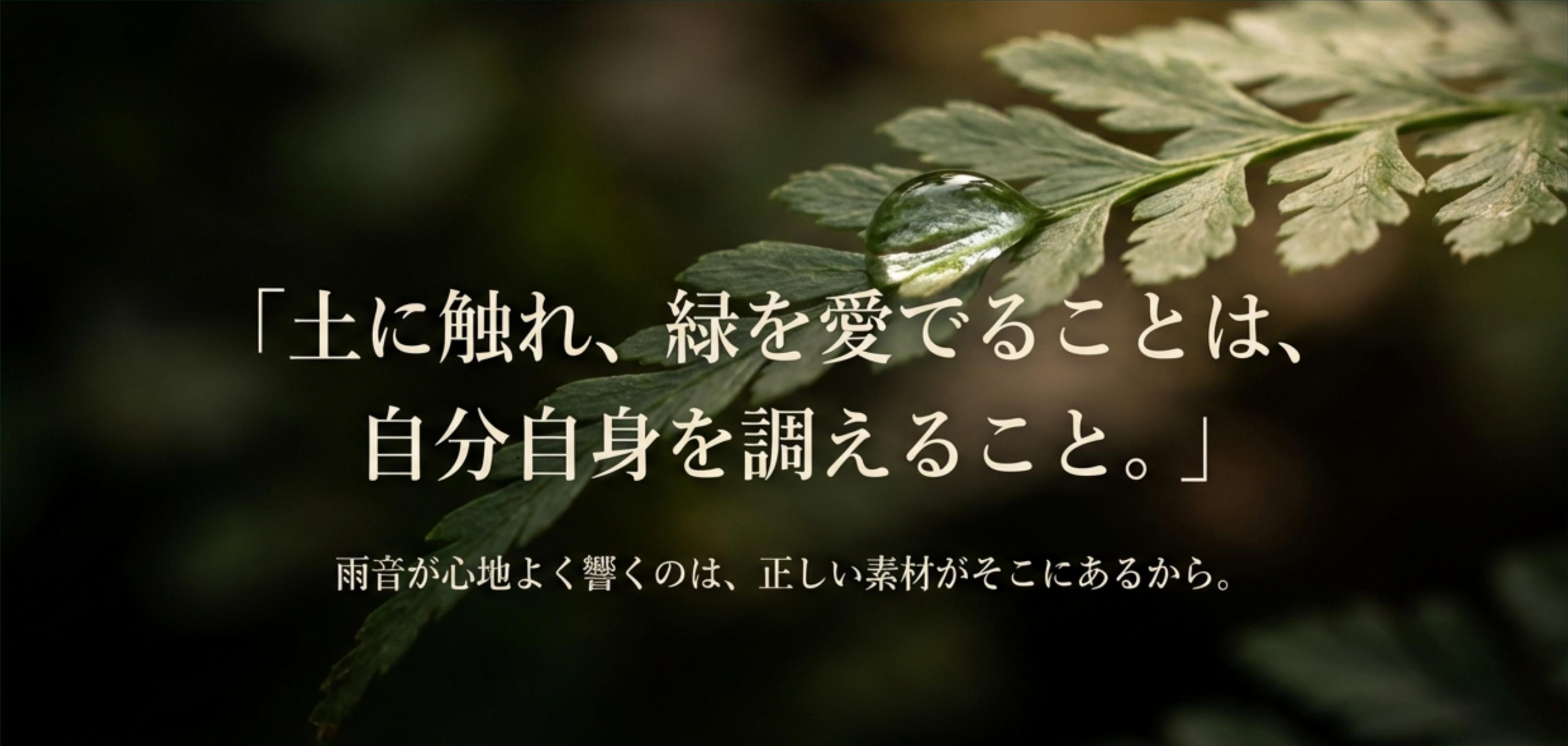


アーカイブの贈呈：  
使用した植物の図鑑や施工記録をまとめた「マイ・プロジェクト・ブック」を贈呈。



経年美化のアドバイス：  
5年後、10年後の成長を予測した  
剪定や手入れの計画。

メンテナンス・キュレーション：  
必要なタイミングで最適な職人と  
連携し続ける。



「土に触れ、緑を愛でることは、  
自分自身を調えること。」

雨音が心地よく響くのは、正しい素材がそこにあるから。

私たちを、あなたの理想の「代理人」に。

Fu-Garden